

第 10 節 植物による大気質のモニタリング

第 1 項 調査概要

大気汚染指標種であるウメノキゴケ等について、施設供用後における本種の生育状況のモニタリング調査を実施した。

1 - 1 調査年月日及び調査内容

調査は表 10 - 1 に示したとおり春季から冬季にかけて各季 1 回の計 4 回実施した。

表 10 - 1 調査年月日及び調査内容

調査時季	調査年月日	調査内容
春 季	平成 18 年 4 月 19 日	ウメノキゴケ等の生育状況調査
夏 季	平成 18 年 7 月 26 日	
秋 季	平成 18 年 10 月 19 日	
冬 季	平成 19 年 1 月 25 日	

1 - 2 調査場所

調査場所は図 10 - 1 に示した 5 地点とした。

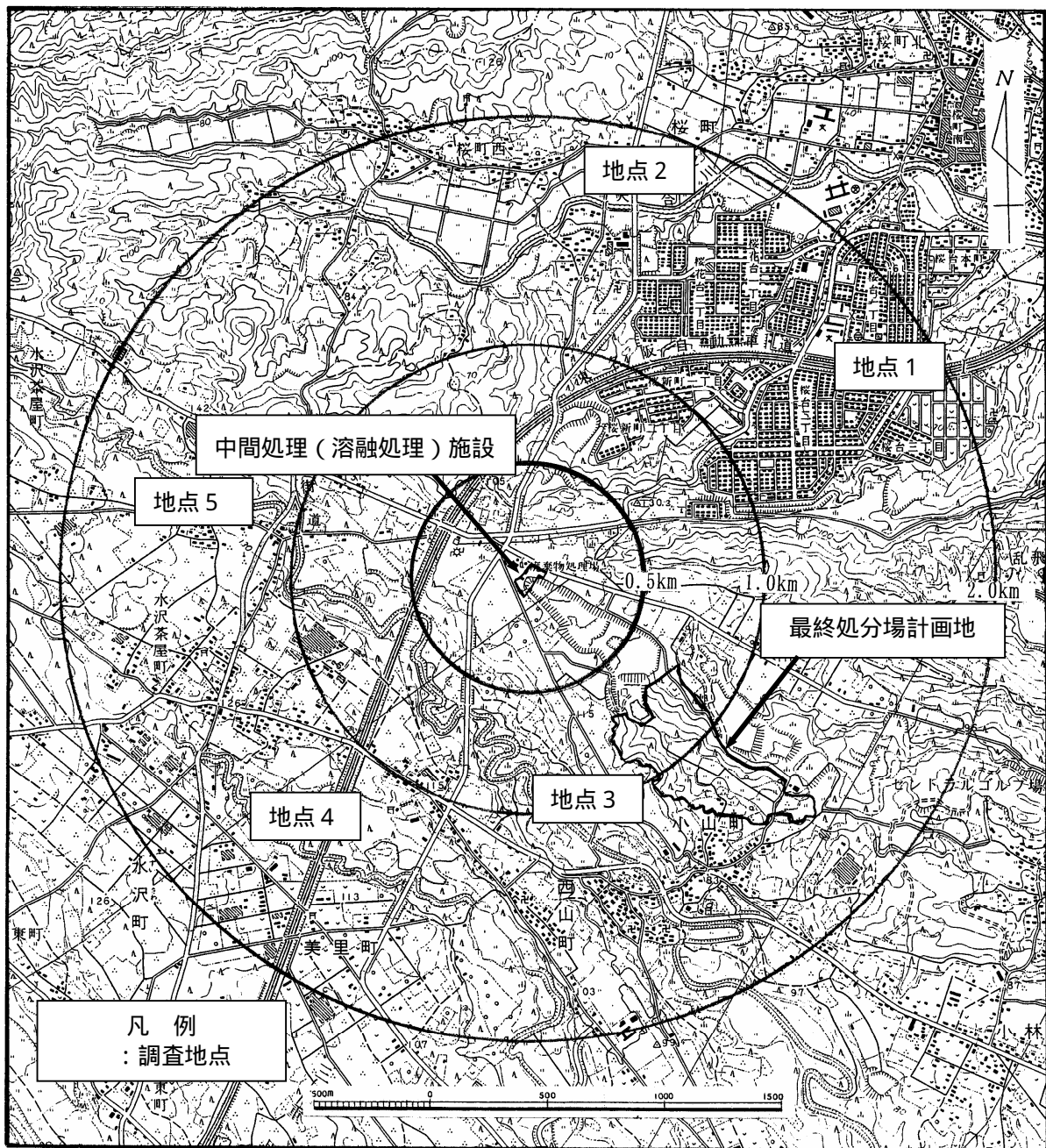


図 10 - 1 植物による大気質モニタリング調査地点

第2項 調査結果

調査の結果、表 10 - 2 に示したとおり、地点 1 及び 4 で一部欠落がみられたが、地点 1 は人為的な影響、地点 4 は着生木の老朽化によるものと思われ、本事業の実施に起因すると思われる変化はみられなかった。

表 10 - 2 (1) ウメノキゴケ等調査結果

時季	地 点	生育木	大きさ (cm)	色	細 胞	備 考
春季	1	ニセアカシア	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	テープを巻いた形跡があり、欠落が所々みられるが、生育状態は良好
	2	ケヤキ	7.5×5.5	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	3	アメリカフウ	14.0×11.0	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	4	ソメイヨシノ	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	着生木の老朽化が著しく、樹皮の落下に伴う欠落がみられ、生育状況は「一面に生育」から「点在して生育」に変わりつつある 生育状態は良好
	5	スギ	2.5～2.0	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
夏季	1	ニセアカシア	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	春季と同様、欠落が所々みられるが、生育状態は良好
	2	ケヤキ	8.0×5.5	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	3	アメリカフウ	14.0×12.0	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	4	ソメイヨシノ	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	着生木の老朽化が著しく、樹皮の落下に伴う欠落がみられる 「点在して生育」しているものが、ややまとまりになりつつあるようである 生育状態は良好
	5	スギ	2.8～2.2	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好

：「欠落」とは、本種が他の要因（人為的、着生木の成長・老朽等）により剥離することを指す。

「崩壊」とは、大気汚染等、生育環境の悪化に伴い、細胞が崩壊することを指す。

表 10 - 2 (2) ウメノキゴケ等調査結果

時季	地 点	生育木	大きさ (cm)	色	細 胞	備 考
秋 季	1	ニセアカシア	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	春季と同様、欠落が所々みられるが、生育状態は良好
	2	ケヤキ	7.0×5.5	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	3	アメリカフウ	14.0×11.5	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	4	ソメイヨシノ	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	着生木の老朽化が著しく、樹皮の落下に伴う欠落がみられる 「点在して生育」しているものが、ややまとまりになりつつあるようである 生育状態は良好
	5	スギ	2.8～2.2	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
冬 季	1	ニセアカシア	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	春季から大きな変化はみられない 生育状態は良好
	2	ケヤキ	7.0×5.5	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好
	3	アメリカフウ	8.0×11.0	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	一部欠落がみられるものの、生育状態は良好
	4	ソメイヨシノ	一面	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	着生木の老朽化が著しく、樹皮の落下に伴う欠落がみられるが、ほとんど変化はない 「点在して生育」しているものが、ややまとまりになりつつあるようである 生育状態は良好
	5	スギ	3.3～2.8	葉状体裏面はつやのある褐色	崩壊なし	生育良好

：「欠落」とは、本種が他の要因（人為的、着生木の成長・老朽等）により剥離することを指す。

「崩壊」とは、大気汚染等、生育環境の悪化に伴い、細胞が崩壊することを指す。

第3項 まとめ

今回の調査の結果、一部の株の生育状況に、人為的や老朽化と思われる影響がみられたが、施設の稼働に伴う影響はみられなかった。